

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	コミセン-男4
----------	---------

年月日	2022 年 7 月 30 日 (土)
大会名	令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会 愛媛県予選 第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

公 式 記 録 用 紙

A 國學院大學栃木高等学校										B 近江兄弟社高等学校									
都道府県 愛媛県					市町村 松山市					会場 松山市総合コミュニティセンター メインアリーナ					回戦 1回戦				
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加シヤスト	A	B					
	9	6		20	16														
7m得点/総数		A 0/0		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 2/6		7m得点/総数							
		1		2 後3			1		2 後3										
				1317			0807		1725										

No.	國學院栃木	G	W	2'	D	DR	No.	近江兄弟社	G	W	2'	D	DR
1	漆原 慧聖			1			1	松井 柊音					
2 c	猿山 大翔	5					2 c	居川 侑右					
3	畑中 陸人	5					3	吉岡 功起	9				
4	保栖 大登	4		1			4	中山 元希					
5	泉川 祥吾			1			5	鈴木 涼太					
6	角田 拓海						6	廣瀬 紘征					
7	道浦 悠貴						7	川野 共喜					
8	竹田 敏行						8	國領 大空					
9	廣富 駿	5					9	坂田 遥斗	2				
10	川面 璃斗煌						10	久保 陽暖					
11	蓼沼 智明						11	林 長紀	1				
12	小畑 秀斗						12	高山 拓彦					
13	山口 十瑳	1					13	武内 隼飛	3				
16	増田 楓大						15	田中 陽舟	1				
監督A	高山 洋太						監督A	東岸 将貴					
役員B	谷島 正孝						役員B	辻 貴史					
							役員C	臼井 莊嗣					

A	高山 洋太	チーム役員A署名	東岸 将貴	B
特記事項				

レフェリー	矢野 克佳	重見 一平	矢野 克佳	重見 一平
TD	東 雄作	近藤 啓司	東 雄作	近藤 啓司
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第73回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

競技日	2022年7月30日(土)		会場	松山市総合コミュニティセンターメインアリーナ	
種別	男子		回戦	1回戦	
チーム名			チーム名		
國學院大學栃木高等学校(栃木)			近江兄弟社高等学校(滋賀)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
20	9	前半	6	16	
	11	後半	10		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評
<p>國學院栃木は②猿山のカットイン、③畑中のディスタンスシュートで先行。対する近江兄弟社は敵の7人攻撃や①GK漆原のナイスセーブに阻まれ、なかなかリズムをつかめずに得点できない。國學院栃木は、⑨廣富、④保栖のシュートで得点を重ねていく。前半11分に近江兄弟社は⑮田中のディスタンスシュートで初得点。その後、①GK松井のナイスセーブ、③吉岡や⑬武内らが得点し、9対6で前半を折り返した。</p> <p>後半は両チームともハードワークによるDFを見せ、お互い簡単には得点を許さない。素早いパスワークによりDF突破を試みる近江兄弟社は⑩林のディスタンスシュート、⑨坂田の速攻などで攻め込み、敵の不正入場による2分間退場の時間帯に1点差まで迫る。しかし、スカイプレーや豪快なディスタンスシュート、⑫GK小畑による7mT阻止などにより優先権を死守する國學院栃木に軍配が上がり、20対16で試合が終了した。</p>